

# 福音の園だより

平成十八年度「高齢者雇用優良事業所 協会会長賞」受賞

介護保険事業者指定 一一七〇四〇二三八二

350・0016 埼玉県川越市木野目一八七八番地一

特定非営利活動法人 福音の園・埼玉 事務局

☎ 049・230・1111

FAX 049・230・1112

## ご家族の声

### 穏やかな顔になった母

戦争の中に四人の子供を育て、八十五才で両膝の手術をし、リハビリをして歩けるようになりました。福音の園に入れていただいてからも、自分の得意な手芸をして楽しんでいた最中、九十二才の時転び、大腿骨を骨折、又も手術をして、とうとう車椅子になってしまった。

病院へ毎日のようにホームの方が見舞いに来て下さる。その方々に「早くホームへ帰りたい」と訴え、病院でリハビリもしないのに、ホームで受け入れてくれました。生来の負けず嫌いとは不屈の精神で、自分勝手なりハビリを始めたのですが、八十代の手術と、九十代の手術の後では、自分の身体の違いに気付いた母は、人相が変わり、笑顔が消えた。しかし、ホームの方々の優しさと暖かさで、五カ月が過ぎた頃から、穏やかな顔になり、笑うようになった。そんな笑顔の母を見ているのが嬉しくて！ ちょこちょこホームへ伺う。

私たち四人の子供がどんな言葉をもっても、ホ

ームの方々に感謝の言葉が、ありません。本当に、本当に、福音の園の職員の皆様方、有り難うございます。

(K・M娘 K・I)

新年度を迎えて 品質管理―介護事業所では

### 「防災」もまたケアの質の一つ

グループホーム 福音の園・川越 ホーム長 杉澤 卓巳  
昨年一月八日、長崎県大村市のグループホーム火災により、入所者九人のうち七人焼死事故から一年を迎えた同日、『現場のホーム跡地で慰霊祭』という地元新聞掲載記事が報じられていました。

この火災事故翌月の本誌第十四号で、『福音の園では、健康と安全のため全館禁煙となつています』『「防災」もまたケアの質の一つ』と当園の取り組みや現状を開示したところ、都内で各種消防設備メンテナンスや防災商品の販売を行なっている事業者が本誌をご覧になり、自社ホームページにインタビュ―記事を掲載したい旨の取材申し込みがありました。去る二月二十日取材当日、インタビュ―の、消防訓練回数に質問が及んだ折、次のように回答しました。

『開園に際して提出した「消防計画書」には、「年6回の消防訓練実施」と明記した。これは前職・特養ホームの法令指導「訓練回数」に準じたもの。この二年間は、消防署立入査察をクリアする訓練回数だった。けれども、三年目を迎えるにあたり、利用者さんの重度化が進み、今後特養ホーム並みの対応が十分予測されることから、新年度からは消防計画書通りに「消防訓練・年6回」を年間事業計画書に盛り込むように準備していると。』

日常的な「訓練」による防災意識こそが質の高いケア(安心と安全)のカギだと認識している。』

### お知らせ

右記インタビュ―記事は、検索サイトで

「点検本舗」<http://www.t-honpo.net>

### 生き甲斐活動―「ピアノの会」紹介

#### いつにいつの喜び

生涯学習音楽指導員・小池 洋子

私がこちらに通うようになって二年が過ぎました。私は、音楽専門

高校、大学へと進みピアノ専攻でしたので、学校ではピアノだけを勉強してきました。しかしながら、幅広い音楽に触れたいという思いから、電子オルガン、ドラム、和楽器、トーンチャイムなどにも携わってきました。それはずっと思いつけていた、いつかたくさんの方と楽しい時間を過ごしたいという思いと重なってまいりました。二年前の私からの申し出に、面接も、書類審査もなく「いつから来てくれますか?」と言って下さったホーム長さんの心の大きさにも感激し、最初は手探りではありましたが、リズム体操、季節の歌、ミニライブと、少しずつ私なりのプログラムも出来てきました。何よりも、知っている曲をピアノで聞いていただいた時の皆さんの反応が、私にとっても喜びとなっております。これからも週1回のこの時間を楽しく共有させていただく事を感謝したいと思います。

### 御礼

サクランボ樹木

K・K様(川越市諏訪町)

イースターエッグ

伊都キリスト教会様(福岡市)

